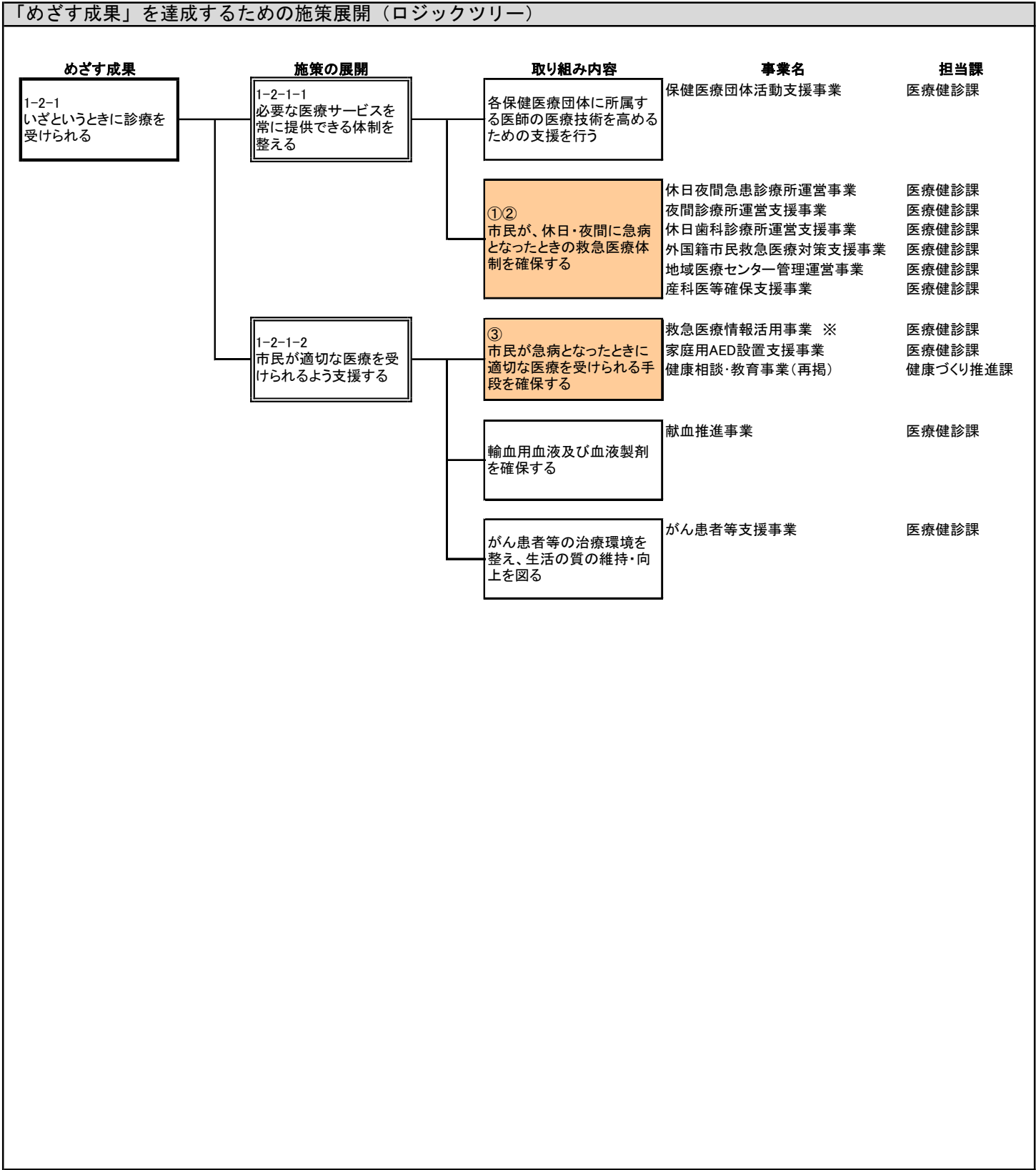


令和３年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
健康領域	人の健康	
基本目標	1	いつまでも元気でいられるまち
個別目標	1－2	いつでも必要な医療が受けられる
めざす成果	1－2－1	いざというときに診療を受けられる
	1－2－2	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている



所 管 部		健康福祉部				
【成果を計る主な指標】						
指標の名称		前期基本計画期間（Ｒ１～Ｒ５年度）				
		計画当初値	実績値 （Ｒ１）	実績値 （Ｒ２）	中間目標値 （Ｒ３）	最終目標値 （Ｒ５）
①	休日夜間急患診療所（一次救急）の年間患者取扱件数	１２，４０３件	１０，５３２件	２，９７１件	１３，０００件	１３，０００件
②	二次救急での中度・重度患者の割合	１４．８％	１８．０％	２０．６％	１７．２％	１８．４％
③	２４時間健康相談受付件数	１８，０６８件	１７，９２５件	１７，７０９件	１８，５００件	１８，５００件

【令和２年度までの主な取り組み内容及び今後の方針】		
施策の展開	主な取り組み内容	今後の方針
必要な医療サービスを常に提供できる体制を整える	■休日及び夜間における内科、小児科の軽症患者のために、大和市地域医療センター休日夜間急患診療所において適切な一次救急医療を提供しました。 ■休日及び夜間における内科・小児科の入院治療等を必要とする中・重症患者のために、病院群輪番制などにより適切な二次救急医療を提供しました（小児科は平成29年度から大和市立病院が24時間365日対応）。	■引き続き、休日及び夜間における中・重症患者に対する救急医療が安定的に提供できるように、大和市医師会及び関係医療機関と連携して、情報共有を進めるほか、各自治体との協議等を進めていきます。
市民が適切な医療を受けられるよう支援する	■救急医療情報キットを公共施設及び薬局において配布しました。 ■健康等に関する不安の解消や市民の健康の維持増進を図るため、24時間健康相談を実施しました。 ■抗がん剤治療等に伴い脱毛症を発症した方を対象としたウィッグ購入費助成、および重粒子線治療を実施した方や骨髄バンク事業においてドナーとなった方を対象とした助成をそれぞれ実施しました。 ＜実績＞ ウィッグ購入費助成対象者数：（R1年度）74人 （R2年度）73人 重粒子線治療費助成対象者数：（R1年度）1人 （R2年度）5人 骨髄ドナー支援事業助成対象者数：（R1年度）1人 （R2年度）2人	■事業の周知方法や配布協力先の拡充について検討し、市民の利用を啓発していきます。 ■様々な分野の相談を受けられる体制を維持していきます。 ■引き続き、事業の周知を継続していきます。また、助成件数や市民からの声を踏まえ、助成制度のより良いあり方を検討します。

※連携の事例		
事務事業等	関係する課等	取り組み内容
救急医療情報活用事業	医療健診課ほか関係各課等	各学習センターや消防本部、調剤薬局等の協力により救急医療情報キットを市民に無料配布し、日頃から冷蔵庫に備えてもらうことで、緊急時に駆け付けた救急隊員がキットを活用して患者を適切な医療へとつなげています。



担当課	医療健診課
関係課	介護保険課、こども・青少年課、図書・学び交流課、救急救命課、消防署管理課
関係団体	公益社団法人大和緩瀬薬剤師会